

2013年10月15日

関西国際戦略総合特別区域地域協議会事務局

## 「関西イノベーション国際戦略総合特区」の区域が拡大

～関西からイノベーション創出をさらに加速していきます～

「関西イノベーション国際戦略総合特区」が特区指定を受けて約2年が経過いたしました。全国には7つの国際戦略総合特区がありますが、関西はこれまでに、全国でトップとなる40プロジェクトが計画の認定を受けています。この度、関西がめざすイノベーションや新産業の創出に向けて、新たに2地区を追加することになりました。

このため、今年2月の区域変更に加えて、8月に内閣総理大臣に区域変更の申請を行い、今般、2013年10月11日付で認定を受けましたのでお知らせいたします。

今回は、日本新薬株式会社（京都市内）が、核酸医薬品等の革新的創薬の研究開発拠点として、また、大阪府立大学りんくうキャンパス内の一部が、創薬の安全性・有効性を確認するために不可欠な獣医臨床・非臨床試験の中核拠点として区域拡大の認定を受けました。

新たな区域を追加した総合特区の活用により、関西の持てる力をさらに発揮し、オール関西でイノベーションの創出とその事業化、産業化を加速して我が国の成長に貢献してまいります。

- ・今年2月までに指定された面積（区画数） 約6,487ha（51区画）
- ・新たに指定された面積（区画数） 約4ha（2区画）



**合 計 約6,491ha（53区画）**

【添付資料】（別紙1）追加区域一覧、（別紙2）全域図（区域追加後）

同時提供先：

京都経済記者クラブ、神戸経済記者クラブ

大阪府政記者会、京都府政記者室、京都市政記者クラブ

本件問い合わせ先：関西国際戦略総合特別区域地域協議会事務局

平岡・西川（06）4803-5557

以 上

## 関西イノベーション国際戦略総合特区の追加区域一覧

No.	地区	追加する区域の範囲	追加する区域の概要	実施事業の概要	特区事業の推進効果
①	京都市内	京都府京都市下京区七条御所ノ内南町及び南区吉祥院西ノ庄門口町の一部の区域 【日本新薬株式会社】	高付加価値を生み出す革新的医薬品の創出と実用化に必要な高度技術を有する企業が立地し、またiPS細胞を活用した疾患研究基盤のある研究開発拠点区域	<p>i) 難病や希少疾患を治療することができるグローバルスタンダードとなるような高品質の核酸医薬品の生産技術基盤(GMP生産、GLP生産)を確立する。</p> <p>ii) 京都大学との疾患特異的 iPS 細胞を用いた難病研究等の共同研究を拡充し、血液疾患等の発症メカニズムの解明を進め、新規治療法に基づく世界に通用する医薬品を創出する。</p>	核酸医薬品の最適化研究と、非臨床試験および臨床試験に必要な高品質の原薬を迅速に製造し、核酸医薬品の実用化を加速させ、また、京都大学との iPS 細胞を用いた難治性疾患研究と連携させて、世界に通用する医薬品の創出を行うことにより、医薬品関連産業の国際競争力の強化に 寄与する。
②	北大阪	大阪府泉佐野市りんくう往来北 1 番 58 【大阪府立大学 りんくうキャンパス】	関西における獣医臨床及び創薬を中心とした非臨床試験(安全性・有効性のスクリーニングと毒性評価等)の中核拠点	獣医臨床及び創薬を中心とした非臨床試験の体制整備、実験動物モデルの研究、ES・iPS細胞の研究(これらにかかる他大学や企業などとの共同研究)及び動物取扱い等にかかる教育・研究機能の強化	非臨床試験の拠点を形成し、関西の地で、研究開発から審査承認まで、一貫した医薬品の開発環境が実現することにより、医薬品産業・医療機器産業の国際競争力の強化に寄与する。

# 関西イノベーション国際戦略総合特区 全域図



■ 今年2月までに指定された区域 面積 約6,487 ha  
■ 今回追加申請する区域 面積 約4 ha 計6,491 ha

